

## 第 4 7 4 回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	10番	新風未来の会 佐久間順子	1. 放課後等デイサービスと保育所等訪問支援について 2. 少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について	市長 教育長
2	11番	新風未来の会 大内卓也	1. 本市のクマ対策について	市長 教育長
3	15番	新風未来の会 四籠英夫	1. クマ出没対策について 2. 冬場の交通安全対策について 3. 冬季間の防火活動について	市長
4	4番	自民市民の会 高子秀明	1. 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について	市長 教育長
5	1番	信志の会 角張大治	1. 議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について	市長 教育長
6	3番	日本共産党 佐藤龍彦	1. 本市の孤独・孤立死対策について 2. 国民健康保険税の子供の均等割軽減について	市長
7	8番	公明党 大森貴之	1. 重点支援地方交付金・推進事業メニューについて 2. 衛星写真による漏水調査について	市長
8	6番	自民市民の会 澁谷政義	1. クマの出没被害対策について	市長
9	5番	自民市民の会 伊藤勝美	1. 財政の今後の見通しについて 2. 新年度の当初予算編成について 3. デジタル教科書について	市長 教育長
10	2番	信志の会 村上由紀	1. 白石市博物館基本構想について	市長 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 1. 放課後等デイサービスと保育所等訪問支援について

### 【質問項目】

- (1)本市にある放課後等デイサービスの利用者数について
- (2)放課後等デイサービス利用に係る懸念について
- (3)放課後等デイサービスの利用形態について
- (4)障害児通所施設ひこうせんについて
- (5)放課後等デイサービス非利用のお子さんへの支援について
- (6)保育所等訪問支援について
- (7)行政と民間事業所との連携について

### 【質問要旨】

- (1) 本市にある放課後等デイサービスを利用している人数と年度末に卒業等で利用しなくなる人数、来年度から利用することが見込まれている予測人数について伺う。
- (2) 今年度卒業する障害を持ったお子さんが市内の事業所を希望した場合に預けられなくなる可能性があるのではないかと懸念するが所見を伺う。
- (3) 市外の方が本市の放課後等デイサービスを希望したいという声はあるのか。また本市の児童生徒が市外を利用するケースはどのくらいあるのか伺う。
- (4) 障害児通所施設ひこうせんで実施している放課後等デイサービスは、他の民間事業所と比較し利用者が少ない状況にあると思われる。その原因の一つとして送迎を実施していないことが考えられるが、今後、送迎を実施する考えはあるのか伺う。
- (5) 放課後等デイサービスを利用したくても、施設的环境等がお子さんに合わない等の理由から、通所していないお子さんもいるとのことだが、そのようなお子さんにはどのような支援をしているのか。また、日中一時支援を利用しているお子さんはいるのか伺う。
- (6) 本市の第3期白石市障害児福祉計画においては、障害児福祉サービスの具体的施策・事業の一つとして保育所等訪問支援がある。この事業では、集団生活への適応のための専門的な支援を行うこととしているが、その実施状況について伺う。
- (7) 行政と民間事業所の連携体制を強化するべきと考えるが所見を伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について

## 【質問項目】

- (1) 教育改革3.0についての市長の見解を伺う。
- (2) ゼロ歳児から2歳児の保育料無償化について
- (3) 保育提供体制の確保のための実施計画について
- (4) こども誰でも通園制度について
- (5) 病児・病後児保育の実施について
- (6) 私立保育園への人材紹介について
- (7) 中学校入学祝い金の助成について

## 【質問要旨】

- (1) 今まで保育園の管轄は市長部局にあったが、令和6年度から教育委員会に移管され、こども未来課が設置された。教育改革3.0における幼児教育・保育の充実についての市長の見解を伺う。
- (2) 現在ゼロ歳児から2歳児に関しては所得に応じて保育料が発生している状況にあるが、無償化する等さらに踏み込んだ施策を行っていただきたい。ゼロ歳児から2歳児の保育料の無償化は単独の財源を使ってでもやるべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- (3) こども家庭庁で令和7年度に公表している、「保育提供体制の確保のための実施計画採択市町村一覧」では県内35市町村のうち15市町村が採択されているが、本市の状況を伺う。
- (4) こども誰でも通園制度も取り入れていくのか伺う。
- (5) 病児・病後児保育の見通しについて、いつ頃を目処に実施していくのか伺う。
- (6) 私立の保育園では、なかなか保育士が確保できないという話を聞く。市の任用期間を終了した会計年度任用職員に対して、私立の保育園を紹介するということは考えていないのか伺う。
- (7) 小学校入学祝い金にとどまらず、中学校入学祝い金の助成も本市独自の充実した子育て支援として今後取り入れて欲しいと考えるが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 1. 本市のクマ対策について

### 【質問項目】

- (1) クマ出没マップは作成・公開されているかを伺う。
- (2) クマの出没頻度が増加している地域に対する対策を示せ。
- (3) 市民へのクマに対する防災啓発活動はあるか。
- (4) クマが出没した際の迅速な対応体制は整っているかを問う。
- (5) 捕獲したクマの処理方法はどのようにしているかを伺う。
- (6) クマ対策の予算はどの程度確保されているのかを示せ。
- (7) クマ対策に対して、国や県から補助金等はあるのかを伺う。
- (8) 学校や公共施設でのクマ対策の教育・訓練はあるか。
- (9) クマの生息地の環境整備はあるか。
- (10) 他で効果的だったクマ対策の事例を参考にする考えはあるか。

### 【質問要旨】

本市のクマ対策について  
全国的にクマの出没・被害の報道がされている。本市も対策等を実施をしていると思うが、市民の認知を深め、被害が出ないようにするためどのような対応が必要と考えているかお示してください。

- (1) クマ出没マップは作成・公開されているか。
- (2) クマの出没頻度が増加している地域に対する対策はどのようにされているか。
- (3) 市民へのクマに対する防災啓発活動はされているか。
- (4) クマが出没した際の迅速な対応体制は整っているか。
- (5) 捕獲したクマの処理方法はどのようにしているか。  
処理に必要な金額も併せてお示してください。
- (6) クマ対策の予算はどの程度確保されているのか。
- (7) クマ対策に対して、国や県から補助金等はあるのか。
- (8) 学校や公共施設でのクマ対策の教育・訓練はされているか。
- (9) クマの生息地の環境整備はどのようにしていくか。
- (10) 他の自治体等で効果的だったクマ対策の事例を参考にする考えはあるか。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 1. クマ出没対策について

### 【質問項目】

- (1)クマが民家に近づかないようにするための対策を伺う。
- (2)クマを見たときの市民の連絡方法と市の対応を伺う。
- (3)実施隊員の増加を図るための方策を伺う。
- (4)実施隊の年間出動状況と出動手当ての改善について伺う。

### 【質問要旨】

収まる心配のないクマの出没と被害についての対策を伺います。今年の秋は今までにない頻度でクマが出没し、人へ危害を加えたり柿などの食害があとを絶ちません。元来クマは人を恐れ近づかない習性があるといわれていますが、今年は人里に現れ柿などを食べ遭遇した人に危害を加えたことが非常に多く報道され、連日クマの出没情報が新聞等で報道されています。今までに経験したことのない事態に多くの市民が恐怖の念を抱いて過ごしています。クマが人里にまで下りて来る原因は、ドングリなど山の木の実が大凶作で食べ物がないことが挙げられています。夏の猛暑や水不足、一年ごとに繰り返される木の実の豊作凶作などの条件が重なり今日の事態となっているものと思います。またクマの冬眠時期が遅れていることも要因と考えられます。この秋を乗り切るための対策について伺います。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 25 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 冬場の交通安全対策について

【質問項目】

- (1)冬道の交通安全についてどのように呼びかけるのか伺う。
- (2)交通安全協会とどのような連携を図って行くか伺う。
- (3)交通安全協会に対しての支援をお考えか伺う。

【質問要旨】

冬場の交通安全対策について伺います。国道113号福岡蔵本地内の改良工事が終わり先日開通祝賀会が開かれました。12年の歳月と55億2千万円の予算を投じて完成した道路は急カーブがなくなり道幅も広く快適な道路となりました。朝な夕なに通行している市民にとっては大きな朗報であり、工事に携わった全ての方々に敬意と感謝を申し上げます。ただ、道路が良くなればスピードも出がちになるものと思います。まして冬季間の滑りやすい時期には事故の発生が懸念されます。一層の注意と安全運転が求められます。本市は死亡事故ゼロの記録を続けております。この記録をどこまでも伸ばすためにも継続した安全対策が必要と思いますがどのような施策を講じられるか所見を伺います。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7年 11月 25日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

## 【質問事項】 3. 冬季間の防火活動について

### 【質問項目】

- (1)市民に対してどのような呼びかけをして行くか伺う。
- (2)白石市消防団、婦人防火クラブとの連携について伺う。
- (3)消防団員の減少についての対策を伺う。

### 【質問要旨】

冬季間の防火活動について伺います。先頃大分県大分市で175戸が焼失する大規模な火災が発生しました。折からの強風にあおられて燃える惨状が報道され恐怖と大きな衝撃を受けました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。また、今年2月には岩手県大船渡市で大規模な森林火災が発生しました。災害の恐ろしさを改めて痛感させられました。今年も年末を迎え乾燥期に入ります。11月9日からは全国火災予防週間が実施されましたが、この運動を契機に一層の防火意識の高揚が必要と思います。市民への呼びかけと関係機関団体とどのような連携をとって行くお考えか伺います。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 29 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	4 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について (1 / 2)

## 【質問項目】

- (1) プロジェクトチームの基本計画について
  - ① 想定している小中一貫義務教育学校の規模について
  - ② 学校新設と既存校舎利活用の比較検討について
  - ③ 市民・保護者など周辺地域住民の意見の反映について
- (2) 各小中学校の校舎および設備について
  - ① 各学校からの設備等修繕要望数と未対応件数等について
  - ② 緊急性の高い修繕要望対応について
  - ③ 学校の洋式トイレ完全設置について
- (3) 教育環境の検証について
  - ① 教育を受ける権利の検証について

## 【質問要旨】

- (1) プロジェクトチームの基本計画について
  - ① 想定している「児童・生徒数」「特別支援を含む学級数」「土地取得予定地と費用」「建設費用」「補助金・交付金等の歳入」について伺う。
  - ② 現状を鑑み、小中一貫義務教育学校の新校舎建設と既存校舎利活用の検討・比較、及び、新設と修繕・増築の費用比較はされたか伺う。
  - ③ 基本方針・基本計画の公表前に、市民・保護者など周辺地域住民の意見反映させる仕組みはあるのか伺う。
- (2) 各小中学校の校舎および設備について
  - ① 各学校からの設備などの修繕要望数と未対応件数、及びその対応手順を伺う。
  - ② 雨漏りや衛生器具の不具合など緊急性の高い修繕要望への対応計画はどうなっているのか伺う。
  - ③ 保護者・市民から、学校の洋式トイレ完全設置の要望が聞かれるが、現在検討されているか伺う。
- (3) 教育環境の検証について
  - ① 児童・生徒の「教育を受ける権利」の検証を行うとき、現在の教育環境及び衛生環境が、国連の「児童の権利に関する条約」、国の「子ども基本法」、本市の「未来を拓く学校教育充実化条例」に沿っているかの評価を第三者機関に依頼する考えはあるか伺う。

【答弁を求める者】 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 29 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	4 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について (2 / 2)

## 【質問項目】

- ②本市児童・生徒の「教育を受ける権利」について
- (4)市民との透明性ある合意形成について
- ①児童・生徒の権利を尊重した市民との合意形成について

## 【質問要旨】

- (3) 教育環境の検証について
  - ②本市として児童・生徒の教育を受ける権利の検証を行うとき、どのように評価しているのか伺う。
- (4) 市民との透明性ある合意形成について
  - ①学校再編についての市民の関心と懸念は、教育活動への影響、通学環境・安全性、防犯対策、災害対応、防災機能、地域社会への影響などが主な点であると察する。児童・生徒と教職員と保護者のみならず広く市民に透明性ある合意形成を図る必要があるとみるが、少子化が急激に進行している状況や安全で快適な衛生環境下での教育を受ける権利を踏まえた学校再編についての市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 教育長, 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 30 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について（1 / 3）

## 【質問項目】

(1) 議会議員と首長の役割の違いについて

- ① 議会議員と首長の役割の違いをどう理解しているかを伺う。
- ② 市民向け資料等で役割の違いを明確にしているかを伺う。
- ③ 周知の必要性を市はどのように認識しているかを伺う。

## 【質問要旨】

議会制民主主義を支えるためには、「議員の理解促進」「議会と行政の役割に関する制度理解の普及」「主権者教育を踏まえた選挙啓発」が重要である。これらは議会として取り組むべき課題である一方、制度運用を担う執行部としての考え方や取組状況についても確認し、共通理解を深める必要があると考える。特に、二元代表制における議会議員と首長の役割が市民に十分理解されていない現状は、議会が行政の一部門と誤解されたり、議員が要望係と捉えられる要因にもなっている。こうした制度理解の不足は、有権者の判断基準や投票行動にも影響を及ぼす。そこで本一般質問では、①議員と首長の役割の整理、②有権者の意識形成、③主権者教育と選挙啓発の在り方について、市の考え方と今後の取組を伺うものである。

- (1) ① 議会制民主主義および二元代表制における、議会議員と首長の役割の違いについて、市はどのように理解しているか。
- ② 市として、市民向け説明資料等（広報・ホームページ・講座等）において、議会と行政の役割の違いをどの程度明確に示しているのか。
- ③ 市民への周知の必要性について、市はどのように認識しているか。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 30 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 議会議員・首長の役割整理と制度理解の促進について（2 / 3）

## 【質問項目】

(2) 役割の違いに伴う有権者の意識のあり方について

- ① 有権者による議会議員・首長の役割理解の重要性を伺う。
- ② 役割理解不足・期待混同の事例はあるかを伺う。
- ③ 有権者が適切に判断するための情報提供について

## 【質問要旨】

議会と行政の役割の違いが理解されることは、有権者が候補者を選ぶ・評価する際の基準にも直結する。「行政サービスを届ける人」ではなく、「市の方向性を決め、監視する人」を選ぶという視点が欠けると、結果として民主主義の質や投票行動にも影響すると考える。

- (2) ① 市は、有権者が議会議員と首長の役割を正しく理解することの重要性について、どのように考えているか。
- ② 市の現状として、「議員に求められる役割への理解が不十分だと感じる場面」あるいは、「行政への期待と議会への期待が混同されていると感じる場面」はあるのか。
- ③ 有権者が適切な判断基準を持つために、市としてどのような情報提供が可能と考えるか。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7年 11月 30日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	1 番 角張 大治
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について (3 / 3)

## 【質問項目】

(3) 主権者教育・投票率向上のための選挙啓発について

- ① 選挙啓発における主権者教育の位置付けについて
- ② 議員と首長の役割理解に基づく選挙啓発の工夫について
- ③ 学校・社会教育との連携による制度理解向上の取組について
- ④ 投票率向上にむけた制度理解重視の啓発への転換について

## 【質問要旨】

近時の選挙結果や投票行動をめぐる議論から、有権者の関心や制度理解、正確な情報へのアクセスといった民主主義の基盤の弱さがあらためて浮き彫りになっている。投票率の低下や政治離れが指摘される中で、単なる「投票に行きましょう」という啓発は限界にある。

本来は、議会と行政の役割理解を含む「主権者としての視点」が土台にあって初めて、投票行動が意味を持つと考える。

制度理解に基づいた、より本質的な選挙啓発が必要であり、二代表制の理解が市民に浸透していくことが、ひいては選挙行動の質を高め、投票率向上にも結びつくと考えます。

- (3) ① 市は、選挙啓発における「主権者教育」の位置づけをどのように捉えているか。
- ② 特に、議会議員と首長の役割の違いを理解した上での選挙行動を促すための啓発について、市としてどのような工夫が考えられるか。
- ③ 学校教育（小中学校）や社会教育（公民館講座等）との連携により、「二代表制の理解」「政治的リテラシー向上」につながる取り組みを検討できないか。
- ④ 本市として、投票率向上のために「形式的な啓発」ではなく「制度理解を深める啓発」へのシフトを検討する考えはあるか。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 30 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

## 【質問事項】 1. 本市の孤独・孤立死対策について

### 【質問項目】

- (1)本市の孤独・孤立死に対する認識を伺う。
- (2)本市の単身世帯数を伺う。
- (3)本市の孤独・孤立死の現状を伺う。
- (4)孤立に関する相談窓口を伺う。
- (5)孤立防止のための支援策を伺う。
- (6)民間事業者との協定締結後の通報件数を伺う。
- (7)今後新たに民間事業者と協力していく考えはあるか。
- (8)今後の孤独・孤立死のリスク軽減の取組みを伺う。

### 【質問要旨】

近年、全国的にも高齢化や病気、経済的な困窮など様々な原因による孤独・孤立死が増加傾向となっています。核家族化の進行や地域コミュニティが希薄となり、独り暮らしの高齢者が増える中、病気や足腰等身体機能の衰えにより、外出の機会も少なくなるなどの理由から、孤立を深めてしまうケースも少なくありません。尊い命が地域社会の中で、誰にも看取られることなく失われることとなります。そこで、本市における孤独・孤立死の現状と今後の取組みについて伺います。

※＜孤独・孤立対策推進法説明時の国会答弁要約＞孤独は本人の感じ方（主観的概念）、孤立は社会から孤立した状態（客観的概念）であるが、具体の状況は多岐にわたるため、一体的に捉え多様なアプローチや手法が必要。

- (1) 本市の孤独・孤立死に対する認識を伺う。
- (2) 本市の単身世帯数とそのうち65歳以上の単身世帯数を伺う。
- (3) 本市の孤独・孤立死の現状について伺う。（直近3年の孤独・孤立死者数等）
- (4) 本市の孤立に関する相談窓口について、どのようになっているのか伺う。
- (5) 本市は孤立防止のため、どのような支援を実施しているのか伺う。
- (6) 本市は民間事業者と「安心生活見守りに関する協定」「高齢者見守りの取組みに関する協力協定」を締結しているが、協定締結後、異変時に民間事業者からの市への通報件数を伺う。
- (7) 今後新たな民間事業者と協力（協定等）していく考えはあるのか伺う。
- (8) 今後の本市の孤独・孤立死のリスク軽減に向けた取組みについて伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 11 月 30 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

## 【質問事項】 2. 国民健康保険税の子供の均等割軽減について

### 【質問項目】

- (1) 本年度の国保加入者のうち18歳までの加入者数を伺う。
- (2) 子供の均等割を5割軽減にした場合の試算額を伺う。
- (3) 子供の均等割を市独自に軽減してはどうか。

### 【質問要旨】

国民健康保険税の子供の均等割については、近年、国の制度とは別に、子育て支援策として市町村独自に軽減する動きが全国的に広がっています。国民健康保険加入世帯は、以前より会社員等が加入する被用者保険の世帯に比べ、経済的負担が大きい現状が指摘されています。そのような中、国も現在未就学児を対象に実施している軽減措置を18歳まで拡大する方向で検討し、2027年4月の実施を目指しているとの報道がされています。

- (1) 本年度の国民健康保険加入者のうち、18歳までの加入者数について伺う。
- (2) 国民健康保険税の子供の均等割を5割軽減とした場合の試算額について伺う。
- (3) 国民健康保険税の子供の均等割を、市独自に軽減する考えはないか伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	8 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 重点支援地方交付金・推進事業メニューについて

【質問項目】

- (1) 水道料金の減免について
- (2) 交付された場合の運用を伺う。
- (3) 推奨事業以外で計画しているものはあるのかを伺う。
- (4) 交付前後の実施体制を伺う。

【質問要旨】

政府は11月21日、物価高対応などを柱に大型減税などを含め21兆3,000億円規模の総合経済対策を閣議決定した。  
物価高対策として重点支援地方交付金については2兆円が計上され政府の推奨事業に基づき自治体が独自の物価対策に柔軟に活用される。  
特に今回の推奨事業には「おこめ券」のほか、公明党の主張で水道料金の負担軽減分を少しでも食料品の購入に使ってもらおう狙いから、水道料金の減免などが盛り込まれた。

- (1) この交付金を水道料金の減免に使えないのか。
- (2) また他の推奨事業に使う計画はあるのか、運用を伺う。
- (3) 推奨事業以外で更に効果があると考えられるものがあるのか等を問う。
- (4) いずれの事業を実施するにしても、交付後、速やかに生活者に支援が行き届くよう今から体制を整えるべきと考える。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	8 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 2. 衛星写真による漏水調査について

【質問項目】

- (1)実施成果を問う。
- (2)再度実施する予定が有るのかを問う。

【質問要旨】

令和6年度白石市公営企業会計決算審査意見書の14ページのむすびにおいて、『「衛星を活用した水道管路の漏水調査業務」の成果を活用した早期の修繕対応や、多様な観点から事業の在り方を検討し有収率の向上に努められたい。』とあり、有収率向上の一つとして、衛星写真による漏水調査が挙げられている。今後、漏水調査業務及び関連事業において、衛星写真による漏水調査を継続すべきと考える。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	6 番 澁谷 政義
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. クマの出没被害対策について (1 / 2)

## 【質問項目】

(1)本市のクマ出没による被害状況について

- ①昨年度と今年11月末までの出没（目撃含む）被害状況を伺う。
- ②昨年度と今年11月末までの捕獲数（錯誤・許可）を伺う。
- ③昨年度と今年11月末までの出没（目撃含む）地区を伺う。

(2)本市の鳥獣保護管理事業について

- ①来春、冬眠明けのクマの捕獲計画策定について
- ②クマが出没しにくい環境（緩衝地帯や誘引物）の整備について伺う。
- ③鳥獣被害対策実施隊員（第一種銃猟免許取得者）の人数と平均年齢を伺う。
- ④ハンター（実施隊員）の研修及び訓練等について伺う。
- ⑤出動の要請があった場合の、保障及び報酬について伺う。

## 【質問要旨】

クマ類は2024年に「指定管理鳥獣」に追加され指定管理鳥獣捕獲等事業で計画的に捕獲を行い、個体数の管理を強化することになっています。事業の主体は都道府県や国が実施し、市町村は被害対策など地域の実情に応じた鳥獣保護管理事業を県と連携して実施することとなっています。

北海道や東北、甲信越などではクマ出没による人身被害や農作物等への被害状況などが連日報道され人々の行動も制限され、日々の暮らしにも大きな影響を及ぼすようになっています。

このことから、本市の被害対策の取り組みについて伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	6 番 澁谷 政義
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. クマの出没被害対策について (2 / 2)

【質問項目】

(3)本市の中長期的なクマ被害対策について

- ①ガバメントハンターの確保と育成について伺う。
- ②住民の生活圏での捕獲体制の強化策について伺う。
- ③本市への鳥獣被害対策、専門チームの新設について伺う。

【質問要旨】

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

## 【質問事項】 1. 財政の今後の見通しについて

### 【質問項目】

- (1)本市の財政状況の現状について
- (2)地方自治体の財政運営について
- (3)人口減少が地方財政に与える影響について
- (4)現在における企業誘致の進捗状況を伺う。
- (5)税制改正が実施された場合の影響を伺う。
- (6)今後の公共施設等の修繕・更新費用を伺う。
- (7)今後の教育施設の修繕・更新費用の方向性を伺う。
- (8)今後の上下水道施設の修繕・更新費用の方向性を伺う。
- (9)現時点での本市財政の中長期的な見通しを伺う。

### 【質問要旨】

- (1)本市の財政状況の現状について見解を伺う。
- (2)地方自治体の財政運営において「財政の硬直化」は避けるべき重要なリスクの一つとして認識されており、「義務的経費比率」と「経常収支比率」は財政の構造的な問題を示す重要な指標となっている。これら数値の今後の見通し及び改善策についての所見を伺う。
- (3)白石市人口ビジョンによると、本市においては令和17（2035）年・27,310人・令和22（2040）年：25,382人となるとの予測がある中、歳入においてどのような影響があると予測しているか見解を伺う。
- (4)現在における企業誘致の進捗状況を伺う。
- (5)国において、消費税率の引下げや所得税基礎控除の引上げなど様々な議論が行われ、ガソリン税暫定税率の廃止に関しては決定されている。現在のこうした動きをどのように捉えているか見解を伺う。
- (6)本市における公共施設等の修繕・更新費用は、今後どのような方向性で取り組んでいくのか、また、どの程度の費用がかかると予測しているか伺う。
- (7)公共施設のうち、教育施設の修繕・更新費用の方向性と取り組み等の見通しを伺う。
- (8)公共施設のうち、上下水道施設の修繕・更新費用の方向性と取り組み等の見通しを伺う。
- (9)今後の公共施設等の更新費用の増加を見据えた現時点での本市財政の中長期的な見通しは、どのように推測されるのか見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長,教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

【質問事項】 2. 新年度の当初予算編成について

【質問項目】

- (1) 予算編成のプロセス及び基本方針を伺う。
- (2) 市税、地方交付税などの歳入について

【質問要旨】

令和 8 年度当初予算の編成に当たって、予算編成のプロセスと基本方針について伺う。

- (1) 厳しい財政の中、効果的に市政を行うため、どのような予算編成のプロセス及び基本方針なのか伺う。
- (2) 市税、地方交付税などの歳入はどのように推計しているのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

# 一般質問通告書

令和 7年 12月 2日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

## 【質問事項】 3. デジタル教科書について

### 【質問項目】

- (1)紙の教科書とデジタル教科書について
- (2)デジタル教科書のメリット、デメリットを伺う。
- (3)デジタル教科書の学習効果について
- (4)選択制の導入について

### 【質問要旨】

文部科学省は、紙の教科書の代替教材としてデジタル教科書を正式な教科書と位置づけたうえで、どちらの教科書を使うかは「教育委員会」が決める「選択制」の導入を検討している。そこで、以下について伺う。

- (1) 紙の教科書とデジタル教科書についての所見を伺う。
- (2) デジタル教科書のメリット、デメリットを伺う。
- (3) デジタル教科書の学習効果を巡っては、紙に比べ記憶が定着しにくいとの研究結果があるようだが、所見を伺う。
- (4) 選択制の導入があった場合、慎重な判断が必要である。本市はどのような方法・プロセスで判断する予定なのか、見解を伺う。

【答弁を求める者】 教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	10 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市博物館基本構想について (1 / 3)

## 【質問項目】

(1)文化財保存の現状と課題を伺う。

- ①保存されている文化財の総点数と保存施設ごとの現状と課題を伺う。
- ②現在の保存環境を続けた場合の将来的なリスク評価を伺う。
- ③新たな収蔵施設整備の必要性と施設整備計画について
- ④建設基金（浄財含む）の現状と市民への説明について

## 【質問要旨】

平成17年に白石市博物館基本構想の答申が出され、さらに昭和60年から現在まで市民の皆さまから多くの浄財も寄せられてきましたが、いまだ具体的な進捗は見られない。この間、社会情勢や財政状況も大きく変化し、当時の博物館という構想のままでは進みにくかったのかもしれないが、文化財のポテンシャルが高い本市が、持てる財産を生かしきれないまま時間だけが過ぎていく状況はこれ以上避けるべきと考える。博物館建設を前提とするのではなく「実現可能な規模・機能」の検討から始めることが必要ではないか。将来世代に対する私たちの責任を果たすため、現状と課題を整理し、どのような道筋があり得るかを明らかにするべく質問を行う。

- (1) ①本市が現在保存している文化財・資料の総点数と、保存・展示している施設ごとの現状（スペース不足、展示・収蔵機能の不足、劣化リスク、建物の老朽化、耐震性、人員不足など）具体的な課題を伺う。
- ②現状の保存環境を続けた場合、資料の劣化や修復費の増加、さらなる散逸、寄贈品の受け入れ停止などの将来的なリスクへの評価を伺う。
- ③保存環境の課題解決のため、博物館建設の前に早急に新たな保存収蔵施設が必要と考える。収蔵施設増設の計画はあるか、なければ課題解決のための方策を伺う。
- ④基金の現在残高とこれまでの活用状況および寄付者・市民へ、博物館建設が進まない状況についての問い合わせ等にどのような説明を行ってきたか伺う。

【答弁を求める者】 市長,教育長

# 一般質問通告書

令和 7 年 12 月 2 日

白石市議会議長 殿

質問順位	10 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市博物館基本構想について (2 / 3)

## 【質問項目】

(2) 博物館的拠点整備の意義と必要性について

- ① 博物館基本構想の経緯と現在までの検討内容を伺う。
- ② 歴史文化の教育的意義と博物館的拠点整備の評価を伺う。
- ③ 第6次総合計画における博物館的拠点整備の意義を伺う。
- ④ シビックプライドの醸成とまちづくりについて
- ⑤ 観光振興と地域経済への効果について

## 【質問要旨】

博物館建設は単に建物をつくることが自体が目的ではなく、文化財を守り、未来へつなぎ、市民が誇れる拠点を整備することに本質があると考えている。(以下拠点整備と記す)

拠点整備について「なぜ必要なのか」「何を守るのか」「市民にどんな価値があるのか」この点を踏まえ考えを伺う。

- (2) ① 博物館基本構想に至った経緯と、過去20年間の検討・調査・庁舎内議論(基本構想・候補地・建設規模・財源等)についての具体的な内容(実現に至らなかった経緯を含め)を伺う。
- ② 本市の歴史文化を教育に生かす意義をどのように認識しているのか。またその効果を高めるための拠点整備の必要性をどのように評価しているのか伺う。
- ③ 総合計画に掲げる歴史文化の継承・活用・整備に照らし、博物館的拠点整備をどのような位置づけと意義で捉えているのか。拠点整備の具体的な役割をどのように評価しているのか伺う。
- ④ 市民の誇りを育むシビックプライドの醸成や、まちづくりとの連動性についてどのような効果をもたらすと捉えているか。またその意義をどのように評価するのか伺う。
- ⑤ 拠点整備から波及する白石城・武家屋敷など歴史資源との回遊性の向上や観光滞在時間の延伸、文化観光の拠点としての機能など、観光振興と地域経済の活性化にどのような効果をもたらすと考えているのか伺う。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

# 一般質問通告書

令和 7年 12月 2日

白石市議会議長 殿

質問順位	10 番
議員名	2 番 村上 由紀
会派名	信志の会

【質問事項】 1. 白石市博物館基本構想について (3 / 3)

## 【質問項目】

(3)文化財保存活用地域計画と拠点整備方針について

- ①文化財保存活用地域計画の策定状況と策定への見解を伺う。
- ②維持管理費、運営体制などソフト面の検討について
- ③中央公民館との複合施設の可能性について
- ④実現可能な拠点規模等の具体の検討を開始する時期ではないか。

## 【質問要旨】

- (3) ①文化財に関する総合的な法定計画であり策定することで、国庫補助の拡大、文化財の体系的な保存、観光施策との連動といった大きなメリットがある。全国の自治体に促している政策でもあり優先順位が低いものではないと考える。本市の策定状況と策定について見解を伺う。
- ②持続可能で専門性の高い市民の宝となる拠点整備には、維持管理費、運営体制、人材確保、保存資料管理方法などソフト面を試算した結果をハード面に生かすことは必須であると考え。これまでにソフト面について検討したことがあれば内容を伺う。
- ③財政負担を抑えるため施設の複合化は重要な要素となる。拠点整備にあたり、展示の他にワークショップや講演会等開催するスペースが必要と考える。市民が学び交流する市民のための拠点とすることも極めて重要であり、老朽化している中央公民館との複合施設とするのはどうか伺う。
- ④文化財の保全、第6次総合計画における位置づけ、教育的効果、観光振興、地域経済への波及、市民の思いなど多面的な観点からみても、拠点整備の検討を前に進める意義は非常に大きいと考える。どの程度の規模や機能なら実現可能な拠点として成立するのか、具体的な試算や比較検討に着手することを決断する時ではないでしょうか。市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長,教育長